

2026年度日系社会研修 コース概要

No	21
所管センター	四国
分野	その他
研修コース名	野球指導者の人材育成
受入人数	10
受入時期	上半期
来日日	2026年5月13日（水）
帰国日	2026年6月13日（土）
提案団体	高知ファイティングドッグス株式会社
提案団体ウェブサイトアドレス	https://kochi-fd.com/
研修員必要資格	望ましい条件 ・高校卒業程度 ・日系社会で野球指導を精力的に行うことができる人材 ・競技経験があることが望ましいが、その限りではない
研修員に必要な実務経験年数	不問
研修使用言語	日本語、ポルトガル語
日本語能力 （JLPT目安）	N5
英語能力	不問
研修目標	日本式野球が伝統的に大切にしている「時間・ルールを守る」「ものを大切にする」「協調性を育む」「感謝・尊敬の気持ちを持つ」といった全人的な教育要素に加え、野球指導及びチーム運営、スポーツマネジメント能力の強化を図ることにより、日系社会における日本式野球を普及・継承していく人材が育成される
期待される成果 （習得する技術）	（１）プロ野球球団の練習や指導方法を通じて、野球指導の手法を習得する。 （２）監督・コーチ・選手の連携や地域での活動を通じ、チーム運営の手法を習得する。 （３）地元少年野球チーム、高知県スポーツ課アスリート育成事業に係わる様々な競技団体と連携し、幼少期から多様なスポーツに触れる機会の創造と手法を習得する。 （４）栄養学やコンディショニング学等を通じ、私生活からケアできる手法を習得する。 （５）大学連携による課題に向けたアクションプランが作成される。
研修計画（内容）	「コーチング・チームマネジメント」研修プログラム 【講義】コーチング論、トレーニング論、スポーツマネジメント論、スポーツ栄養学、メンタルトレーニング 等 【視察】高知FD公式戦、地元少年野球チーム、高知FD野球スクール、高知県軟式野球連盟主催U-10アカデミー、ソフトボールチーム 【実技・実習】高知FD公式戦マネジメント、練習参加（ウォーミングアップ・守備練習・打撃練習・投球練習） 【その他】地域の行事、小学校訪問などの地域振興イベントへの参加
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	日系社会は入植した１世から、現在は３～４世の世代へと移行している。同時に、日系社会における野球のプレイスタイルは徐々にキューバ式やアメリカ式が主流となり、「日本野球らしさ」が希薄になりつつある。 しかし、日系野球文化を築いてきた１世はそれらの現状を懸念しており、礼儀・チームプレー・フェアプレーを重んじ、基礎・基本に忠実で青少年育成の観点からも、日本式野球の後世への継承を求める声が多く挙がっている。 野球を通じて、技術だけではなく南米地域に広がっている日系社会同士のコミュニケーションツールとしての機能も期待されている（スポーツ大会や日系イベント等）。 「時間・ルールを守る」「ものを大切にする」「協調性を育む」「感謝・尊敬の気持ちを持つ」等、野球だけではなく社会で重要なスポーツマンシップを、日本式野球を通して指導したいチームがある一方で、それらをコーチングできる指導者が少ない。 本研修を通じて、元プロ野球選手や地元アマチュアの野球指導者による指導メソッド、有資格トレーナーの技術、スポーツマネジメントやマーケティング、スポーツ栄養学など多岐にわたる分野を見て学び、日系社会各地で抱える課題を解決し、南米日系社会でリーダーシップを図れる人材育成へ貢献する。 これまで８年間の研修員ＯＢは４０名近くにもなり、ＯＢによる南米広域での繋がりからコミュニティ形成もなされており、本研修のニーズは非常に高いと感じられる。 本研修の初年度（2018年度）以降の研修員ＯＢと現役海外協力隊員が連携し、南米の国々を結ぶ交流大会が2024年１月にはブラジルにて第１回大会、そして2025年１月にはパラグアイにて第２回大会が開催され、ブラジル、パラグアイ、ペルーなど日系だけではなく非日系の選手との交流も盛んに行われた。第３回大会はアルゼンチンやペルーでの開催を検討しており、更なる発展・拡大が期待される。
応募希望者への特記事項	原則として日本語で実施。 ポルトガル語については通訳がいるが、日常会話で日本語、英語が話せると望ましい。 スペイン語についてはスタッフ等で一部対応可能。